

あなたの願い叶え隊

- 第13回 -



様
歳

様は現役時代御住職をされており、一人で過ごす時間を大切にされる落ち着いた穏やかな方です。以前より「自宅へ帰ってみたい」というご希望があり、このお誕生日外出をととても楽しみにしておられました。

待ちに待った誕生日当日、奥様が待つご自宅へ職員と一緒に出発。車内では「7年ぶりに家に戻るので浦島太郎状態」と話していました。最初は道がわからなかった様でしたが、ご自宅へ近づくにつれ「ここは〇〇さんの家。そこは〇〇さんの家」など、少しずつ思い出した様子でした。



立派な内陣に安置されたご本尊は400年前のものだそうです



奥様の横が一番安心できます

ご自宅へ入ると様はまず、仏様に手を合わせました。とても長い時間拝まれた後、仏様を見上げ「また拝むことができてうれしいです」と感慨深げに話されました。少し雑談した後、和室に移動。以前、ご旅行で中国に行かれた時、画家に描いてもらったというお気に入りの掛け軸を眺めながら、その時の思い出などを色々お話しして下さいました。



穏やかな表情でしみじみと手を合わせました

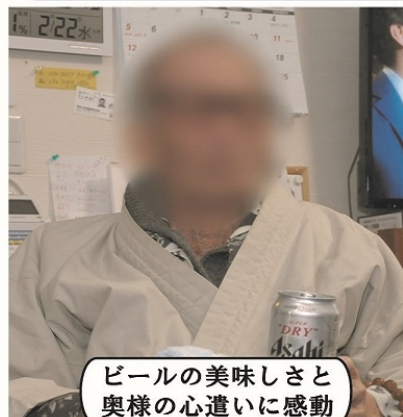


思い出の詰まった掛け軸を眺める様

机には様が大好きだったというケンタッキー・フライド・チキンとビールが用意してありました。「何が喜ぶかなと考えたら、これが一番だと思いました。主治医の先生にもちゃんと許可をもらってるので安心して飲んでいいのよ」と奥様は笑顔で話されました。施設では好きな時にビールを飲むことはできず、イベント等で出るビールはノンアルコールとあって、これにまた感動。ビールのCMでも見ない程の感動した表情を見せて下さいました。



色々な方が会いに来て下さいました



ビールの美味しさと奥様の心遣いに感動

様には「いつか自宅へ戻り家族と一緒に暮らしたい」というお気持ちがあり、専門のリハビリ職と歩行訓練などを頑張っています。その夢を叶えるために体力向上はもちろんですが、ご自宅との調整、コロナの社会状況など色々難しいところがあるのは事実です。しかし私たちはそのお気持ちに寄り添い、在宅復帰が難しいのなら外泊、それも難しければ日帰りなど、夢に一步でも近づけるようお手伝いさせていただきます。



ご近所さんとも談笑しました

「人生はもっと輝ける」をスローガンに、職員全員で入居者様の笑顔を増やす取り組みを行っています。現在満床ですが、待機待ちも受け付けています。施設での取り組みについてのお問い合わせや施設見学など、お気軽にお問い合わせください。

Tel0964-43-5724 担当：松岡